

平成 16 年度 春期 テクニカルエンジニア（システム管理） 午後 解答例

この解答例は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問 1

情報システムのサービスレベルは、アウトソーシングに代表される企業間の取決めとしてだけでなく、サービス提供部門と社内ユーザの間での取決めとしても設定される傾向にある。

本問では、システム管理エンジニアとして、ユーザ要求にふさわしいサービスレベルをどのように設定したか、また、その維持のためにどのような方策を講じたかについて、具体的な論述を求めるものである。

本問では、論述を通じて、サービスレベルを維持するためにシステム管理エンジニアが有すべき分析能力、対策立案能力、管理能力を評価する。

*

問 2

アウトソーシングは、外部リソースの活用とコスト削減などの観点から、情報システムの運用業務についても積極的に活用されている。

本問では、委託側及び受託側のシステム管理エンジニアが、運用業務のアウトソーシングの際に主体的に行うべき、移行計画の立案を主題としている。すなわち、移行計画立案時に検討した作業の中で、アウトソーシングの目的に照らし重要と考えた事項について、重要と考えた理由とともに両方で協議した内容を具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、システム管理エンジニアとして有すべき運用業務のアウトソーシングに関する技術知識、計画立案能力、判断能力、調整能力を評価する。

*

問 3

情報システムが大規模化・複雑化するに伴い、障害が発生した場合の影響が大きくなっている。障害切分けを的確に行い、利用者への影響を最小限に抑えなければならない。

早期に復旧させるためには、障害切分け方法を手順化しておくことが必要であるが、手順化されていない障害が発生した場合、システム管理エンジニアは、関係者の協力を得て障害箇所の特定を適切に実施する必要がある。

本問では、論述を通じて、システム管理エンジニアとして有すべき障害切分けに関する経験、分析能力、論理的判断能力、統括能力を評価する。

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。